

2019年3月期 第1四半期決算説明資料

SMBC日興証券株式会社

2018年7月24日



		[参考資料]	
2019年3月期 第1四半期決算サマリー	2	四半期損益推移 (連結)	19
業績の四半期推移	3	四半期損益推移 (SMBC日興証券)	20
純営業収益・商品販売の状況	4	営業指標-1	21
株式委託手数料	5	営業指標-2	22
投信募集・ファンドラップ・代行手数料	6	営業指標-3	23
トレーディング損益	7		
引受関連手数料 (株式・債券)	8		
M&A	9		
三井住友銀行との連携について	10		
(参考資料) 銀証合算のリテール運用資産残高について	11		
販売費・一般管理費	12		
連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況	13		
預り資産残高・資産導入額	14		
海外拠点の業績推移	15		
海外ネットワーク	16		
トピックス	17		

・本資料は、当社の業績等に関する情報の提供を目的として、2018年7月24日現在のデータに基づいて作成しております。また、本資料には資料作成時点の当社の見解を記載しており、当社は、その正確性及び完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更することがあります。

※ 連結決算を開示しております。特段の記載のないものは連結の業績を記載しております。

2019年3月期 第1四半期決算サマリー



2019年3月期
第1四半期

- **純営業収益864億円(前年同期比+5%) 経常利益180億円(同-14%) 当期純利益(*1) 149億円(同+3%)**
ファンドラップ手数料・代行手数料の安定収益が拡大し、純営業収益は増加
また、連結納税ベースでの税額控除適用等により税金費用が減少し、当期純利益では増益
- 株式委託売買代金は8.7兆円(同+20%)
商品販売額合計は2.5兆円(同-2%)と引き続き堅調に推移
- 引受手数料は88億円(同+57%)
2018年度リーグテーブルは、グローバル株式・ブックランナー4位(*2)、円債総合・主幹事5位(*3)、M&A公表案件取引金額ベース7位、案件数ベース2位(*4)
- 販売費・一般管理費は702億円(同+13%)
- 2018年6月末の総資産9.7兆円、純資産8,168億円
自己資本規制比率(SMBC日興証券単体)は443%と安定した財務基盤を維持

経営成績 (単位: 億円)	18/3期		19/3期	前年同期比 増減率	前四半期比 増減率
	1Q	4Q	1Q		
営業収益	914	1,046	973	+6%	-7%
純営業収益	821	948	864	+5%	-9%
販売費・一般管理費	623	746	702	+13%	-6%
経常利益	209	225	180	-14%	-20%
税金等調整前当期純利益	205	183	173	-15%	-5%
当期純利益(*1)	144	141	149	+3%	+6%
財政状態	2017年 6月末	2018年 3月末	2018年 6月末	前年同期比 増減額	前四半期比 増減額
総資産	12.2兆円	10.6兆円	9.7兆円	-2.5兆円	-0.9兆円
純資産	5,484億円	8,187億円	8,168億円	+2,683億円	-19億円

(*1) 当社株主に帰属する当期純利益

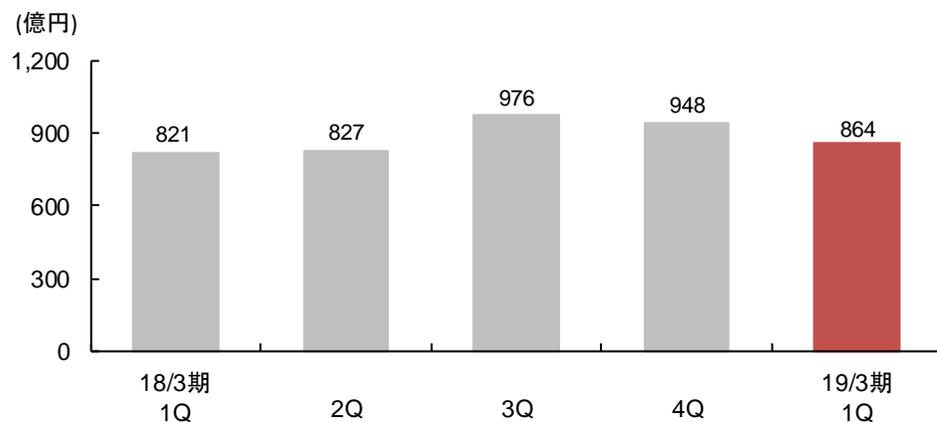
(*2) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

(*3) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

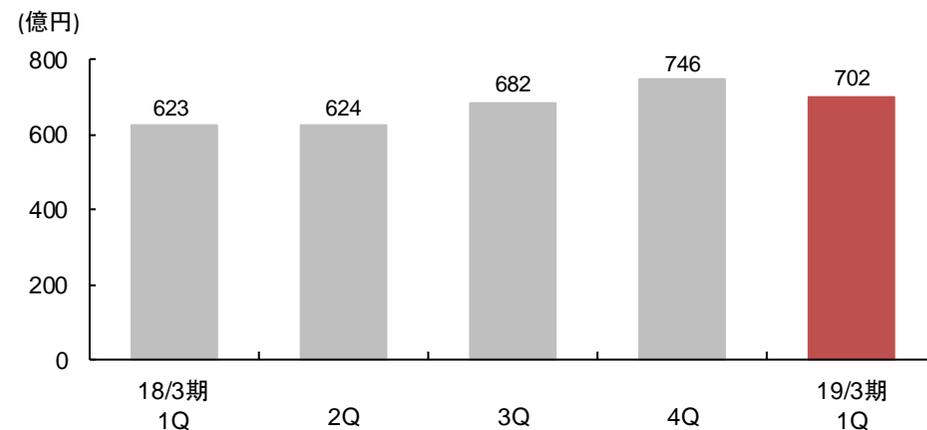
(*4) 出所: THOMSON REUTERS 日本企業関連M&A公表案件

業績の四半期推移

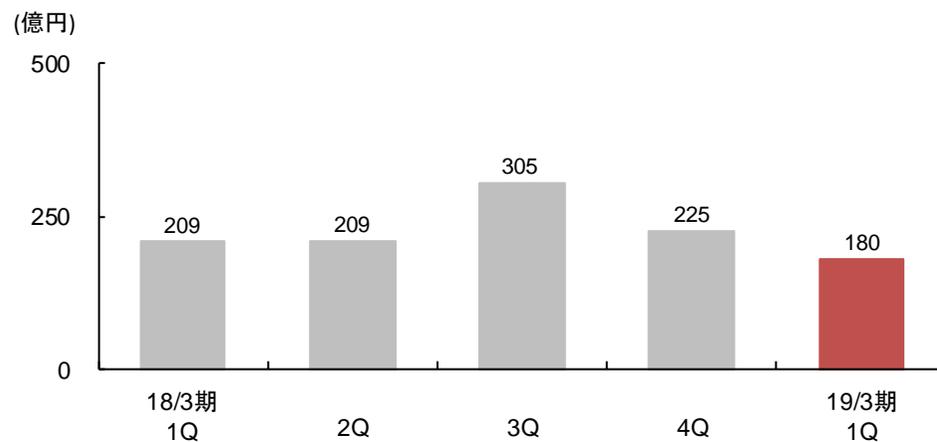
純営業収益



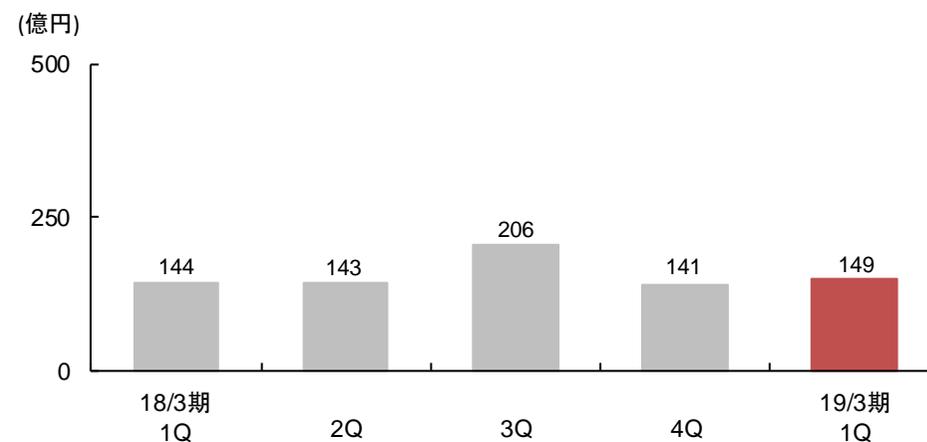
販売費・一般管理費



経常利益



当期純利益(*)

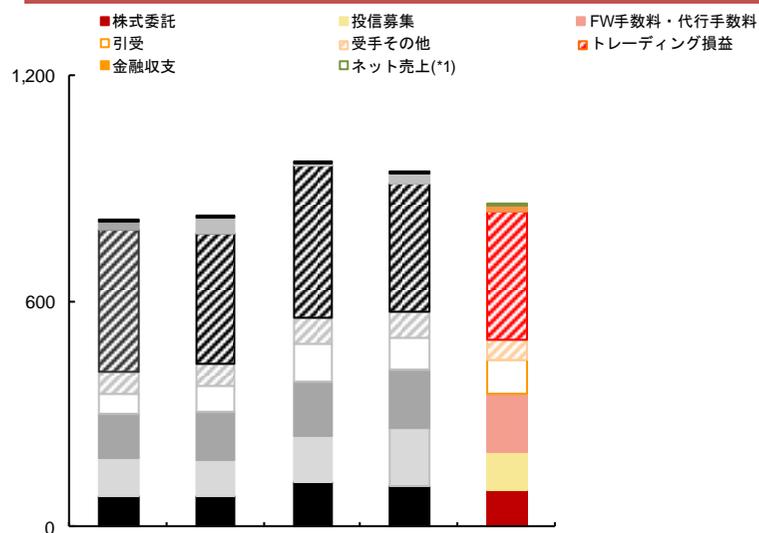


(*) 当社株主に帰属する当期純利益

純営業収益・商品販売の状況

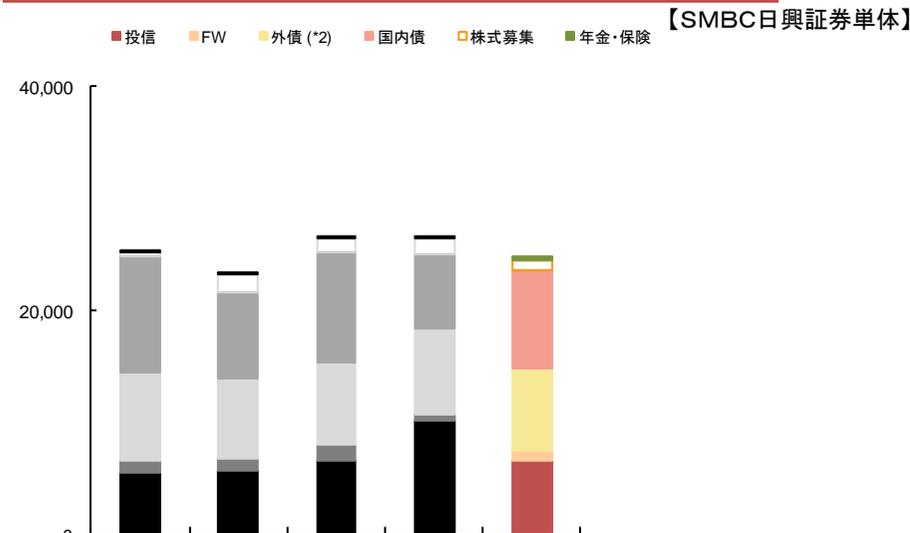
- ◇ 第1四半期の純営業収益は864億円(前年同期比+5%、前四半期比-9%)
前年同期比では、ファンドラップ手数料・代行手数料、引受手数料が増加。前四半期比では、投信募集手数料を中心に減少
- ◇ 商品販売額合計は2兆4,803億円(同-2%、同-7%)
前四半期比では投信販売額が減少したものの、商品販売額全体では引き続き堅調に推移

純営業収益 推移(億円)



	18/3期 1Q	2Q	3Q	4Q	19/3期 1Q	前年同期比	前四半期比
株式委託	86	85	124	110	99	+15%	-10%
投信募集	100	95	123	156	101	+1%	-35%
FW手数料・ 代行手数料	117	128	140	152	156	+33%	+3%
引受	56	68	101	90	88	+57%	-2%
受手その他	55	58	72	69	56	+2%	-18%
トレーディング損益	380	347	404	340	340	-10%	+0%
金融収支	21	42	6	25	16	-22%	-35%
ネット売上(*1)	2	2	2	1	3	+20%	+83%
合計	821	827	976	948	864	+5%	-9%

商品販売額 推移(億円)



	18/3期 1Q	2Q	3Q	4Q	19/3期 1Q	前年同期比	前四半期比
投信	5,507	5,660	6,613	10,130	6,507	+18%	-36%
FW	1,056	1,024	1,369	653	978	-7%	+50%
外債(*2)	7,873	7,252	7,358	7,557	7,342	-7%	-3%
国内債 (うち個人向け国債)	10,416	7,739	9,917	6,773	8,815	-15%	+30%
株式募集	358	1,566	1,195	1,365	910	2.5倍	-33%
年金・保険	85	166	242	175	251	3.0倍	+43%
合計	25,295	23,406	26,693	26,652	24,803	-2%	-7%

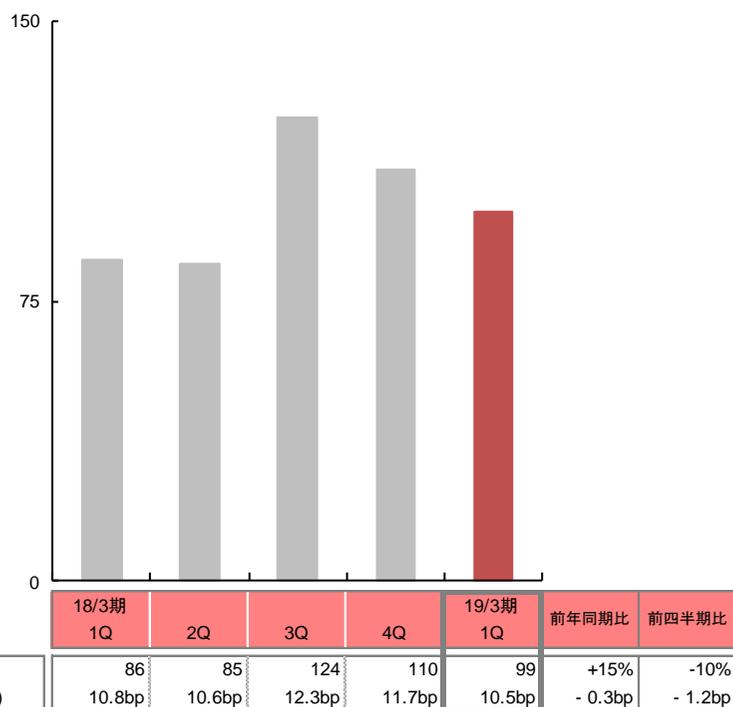
(*1) 売上高-売上原価

(*2) 外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む

株式委託手数料

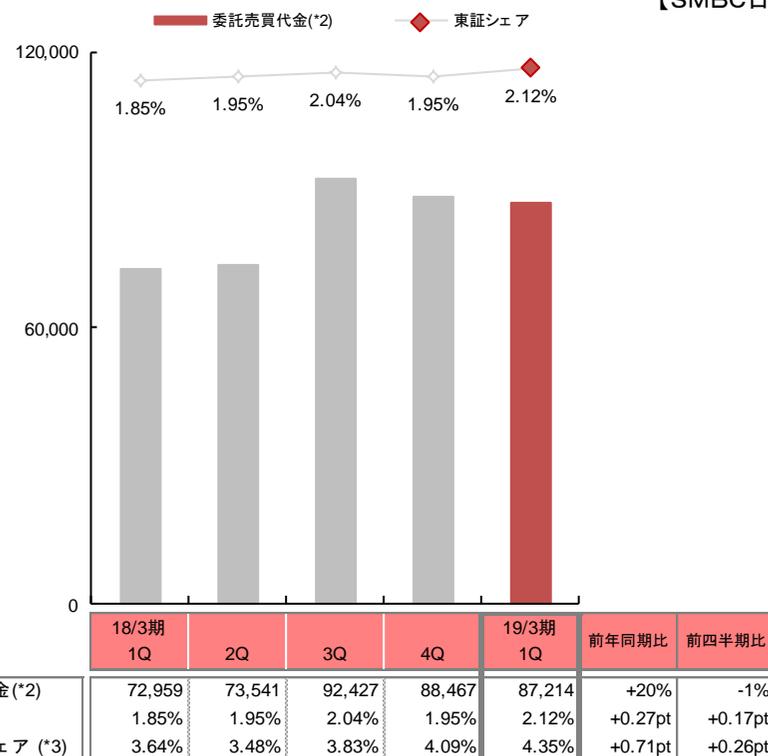
◇ 第1四半期の株式委託売買代金は8兆7,214億円(前年同期比+20%、前四半期比-1%)、株式委託手数料は99億円(同+15%、同-10%)
前四半期比では個人のお客様の取引が減少したものの、東証シェア・個人委託シェアは増加

株式委託手数料 推移(億円)



株式委託売買代金・東証シェア 推移(億円、%)

【SMBC日興証券単体】

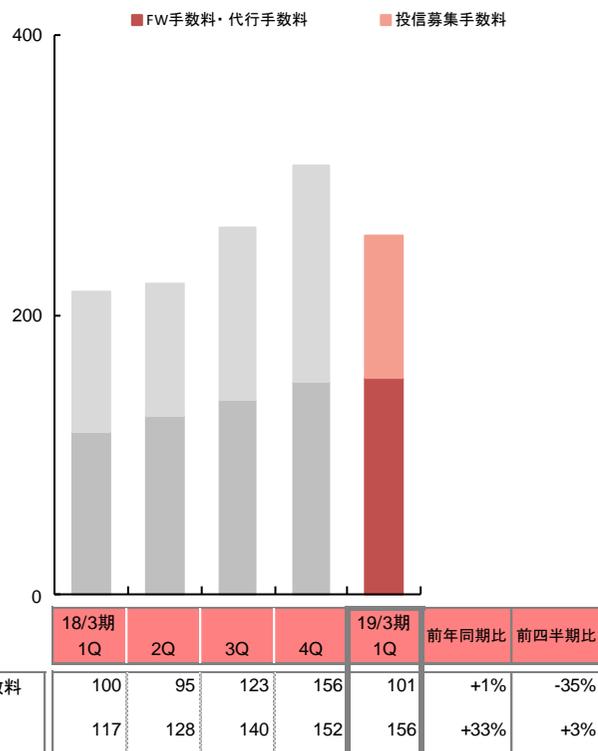


(*1) 調整後株式委託手数料÷株式委託売買代金(集計対象:現物及び信用取引)
(*2) 集計対象は全市場
(*3) 集計対象は東証・名証の一部・二部等

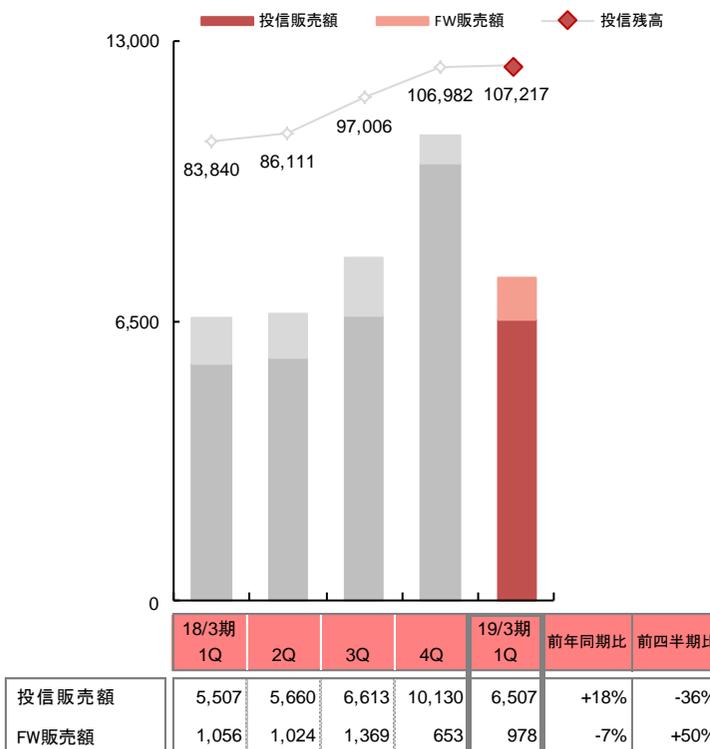
投信募集・ファンドラップ・代行手数料

◇ 第1四半期の投信販売額は6,507億円(前年同期比+18%、前四半期比-36%)、投信募集手数料は101億円(同+1%、同-35%)
前四半期は次世代自動車関連ファンドの販売が好調であったため、前四半期比で販売額、手数料ともに減少
一方で、注力するファンドラップは残高の積み上げにより、ファンドラップ手数料・代行手数料は前年同期比・前四半期比いずれも増加

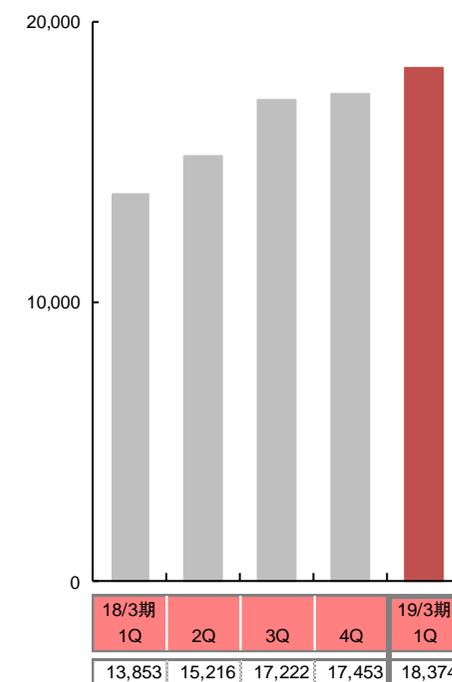
投信募集手数料等 推移(億円)



投信販売額/投信残高 推移(億円)



ファンドラップ残高 推移(億円)(*1)



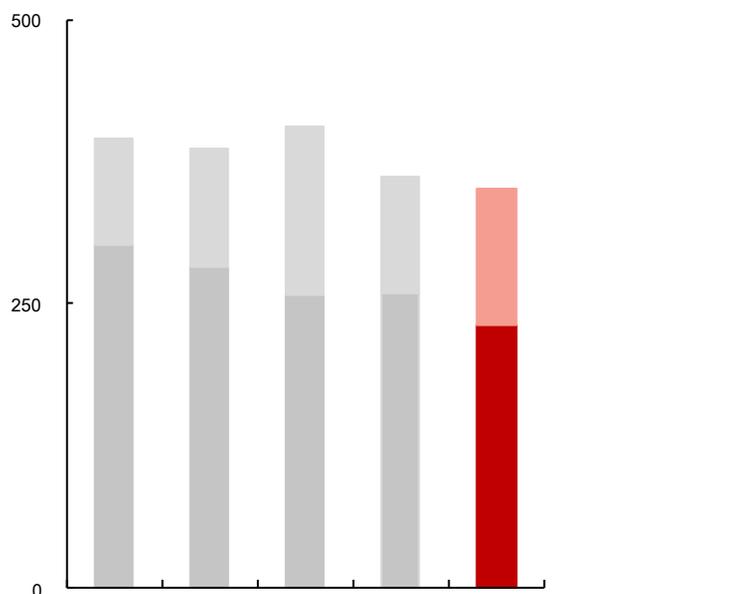
(*1) ファンドラップ残高は当社における預り残高を集計

トレーディング損益

◇ 第1四半期のトレーディング損益(金融収支調整後)は352億円(前年同期比-11%、前四半期比-2%)
 外国株式の店頭取引が好調であった株券等トレーディング損益は、前年同期比、前四半期比いずれも増加
 一方、金利・為替市場の膠着感から、債券等・その他トレーディング損益は、前年同期比、前四半期比いずれも減少

トレーディング損益(金融収支調整後) 推移(億円)

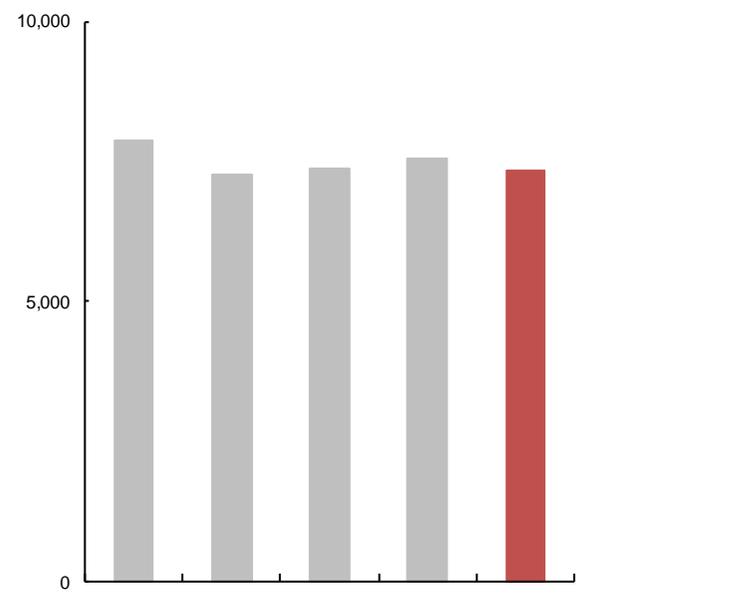
■ 債券等・その他(*2) ■ 株券等(*1)



	18/3期	2Q	3Q	4Q	19/3期	前年同期比	前四半期比
	1Q				1Q		
株券等(*1)	95	103	148	101	120	+26%	+19%
(うち配当等)	(9)	(47)	(13)	(28)	(13)	(+30%)	(-55%)
債券等・その他(*2)	301	283	258	260	232	-23%	-11%
(うち利子)	(6)	(-8)	(-11)	(-8)	(-0)	(-)	(-)
合計(*3)	396	386	406	361	352	-11%	-2%

外債販売額 推移(億円)

【SMBC日興証券単体】



18/3期	2Q	3Q	4Q	19/3期	前年同期比	前四半期比
1Q				1Q		
	7,873	7,252	7,358	7,557	7,342	-7%
						-3%

・ 配当落ち等の影響を補完したトレーディング損益(金融収支調整後)を表示

(*1) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる配当等(純額)を集計範囲に含む(一部レンディングによる配当含む)

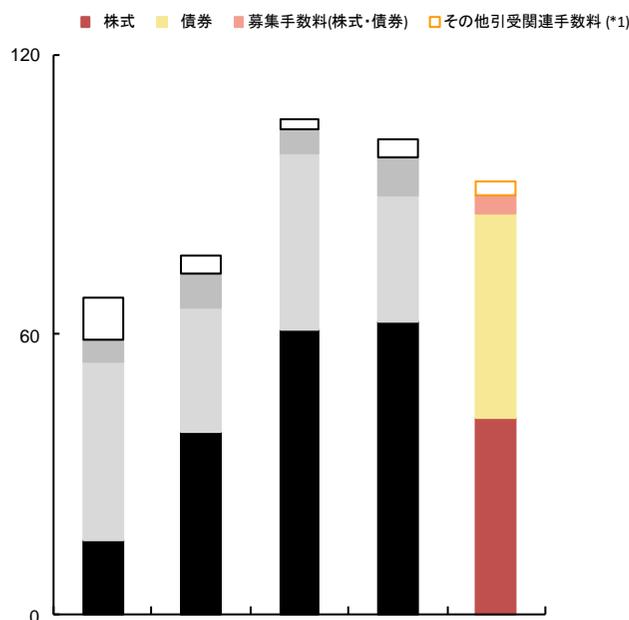
(*2) 金融収支のうち、トレーディングポジションから生じる債券利子(純額)を集計範囲に含む

(*3) ファンディングコストは集計範囲に含まない

引受関連手数料 (株式・債券)

- ◇ 第1四半期の引受手数料は88億円(前年同期比+57%、前四半期比-2%)
- ◇ 2018年度 グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナーは4位(シェア15.9%)、新規公開株式引受は案件数ベース(主幹事)1位・引受金額ベース5位、円債総合-主幹事は5位(シェア16.4%)

引受関連手数料(株式・債券) 推移(億円)



	18/3期	2Q	3Q	4Q	19/3期	前年同期比	前四半期比
	1Q				1Q		
引受手数料	56	68	101	90	88	+57%	-2%
株式	16	39	61	63	42	2.6倍	-33%
債券	38	27	38	27	44	+15%	+65%
募集手数料(株式・債券)	5	7	5	8	4	-13%	-44%
その他引受関連手数料 (*1)	9	4	2	4	3	-64%	-13%

グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー(*2) 2018年度

順位	ブックランナー	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	大和	1,824	18.3%
2	野村	1,804	18.2%
3	三菱UFJモルガン・スタンレー	1,740	17.4%
4	SMBC日興	1,580	15.9%
5	みずほ	1,237	12.5%

新規公開株式引受(*3) 2018年度

【案件数ベース】			【引受金額ベース(単位:億円)】		
順位	主幹事	件数	順位	引受金額	金額
1	三井住友FG	5	1	大和証券グループ本社	703
1	野村	5	2	モルガン・スタンレー	622
1	みずほFG	5	3	野村	562
4	大和証券グループ本社	4	4	みずほFG	128
4	モルガン・スタンレー	4	5	三井住友FG	100

円債総合-主幹事(*4) 2018年度

【SMBC日興証券単体】			
順位	主幹事	引受金額 (億円)	シェア (%)
1	みずほ	12,040	19.9%
2	三菱UFJモルガン・スタンレー	11,987	19.8%
3	野村	11,891	19.7%
4	大和	10,406	17.2%
5	SMBC日興	9,928	16.4%

(*1) 流動化アレンジメントにかかわる収益を含む

8 (*2) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(海外拠点を含む)

(*3) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(海外拠点を含む)

(*4) 出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成(事業債、財投機関債、地方債[主幹事方式]、サムライ債)

◇ 2018年度 M&Aリーグテーブルにおいて、取引金額ベースで7位(占有率36.9%)、案件数ベースで2位(同3.2%)

ファイナンシャル・アドバイザー 取引金額ベース 2018年度

順位	アドバイザー	取引金額 (億円)	占有率 (%)
1	ゴールドマン・サックス	156,763	87.2%
2	モルガン・スタンレー	155,760	86.6%
3	JPモルガン	149,024	82.9%
4	Evercore Partners	147,850	82.2%
7	三井住友フィナンシャルグループ	66,318	36.9%

ファイナンシャル・アドバイザー 案件数ベース 2018年度

順位	アドバイザー	案件数	占有率 (%)
1	みずほフィナンシャルグループ	29	3.3%
2	三井住友フィナンシャルグループ	28	3.2%
3	野村	23	2.6%
4	Kaede Group	20	2.3%
5	モルガン・スタンレー	19	2.2%

主なM&Aの公表案件 2018年度

協和エクシオ
/ シーキューブ、西部電気工業、日本電通
協和エクシオは、株式交換によりシーキューブ、西部電気工業、日本電通を完全子会社化
(当社は協和エクシオのアドバイザー)

シャープ
/ 東芝クライアントソリューション(東芝)
シャープは、東芝から東芝クライアントソリューションの株式80.1%を譲り受ける。株式譲渡に先立ち、東芝はグループ内再編を行い、パソコン事業を東芝クライアントソリューションに集約する
(当社はシャープのアドバイザー)

セコム
/ 東芝セキュリティ
セコムは、東芝の完全子会社である東芝セキュリティの株式80.1%を取得
(当社はセコムのアドバイザー)

伊藤忠商事
/ ユニー・ファミリーマートホールディングス
伊藤忠商事は、完全子会社を通じて、ユニー・ファミリーマートホールディングスの公開買付けを実施
(当社はユニー・ファミリーマートホールディングスのアドバイザー)

T-Mobile US
/ Sprint Corporation(ソフトバンクグループ)
ソフトバンクグループは、米国子会社であるSprint CorporationとT-Mobile US, Inc.の合併につき最終合意
(当社はソフトバンクグループのアドバイザー)

日清紡ホールディングス
/ 新日本無線
日清紡ホールディングスは、株式交換により新日本無線を完全子会社化
(当社は日清紡ホールディングスのアドバイザー)

(*) 出所: THOMSON REUTERS 日本企業関連M&A公表案件

三井住友銀行との連携について

◇ 個人のお客様の口座数、法人のお客様の紹介件数はともに拡大しており、銀証連携は引き続き順調に進展

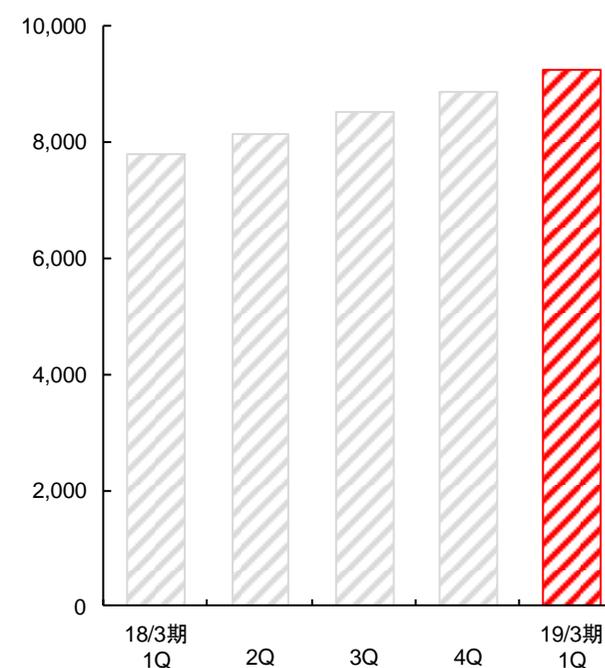
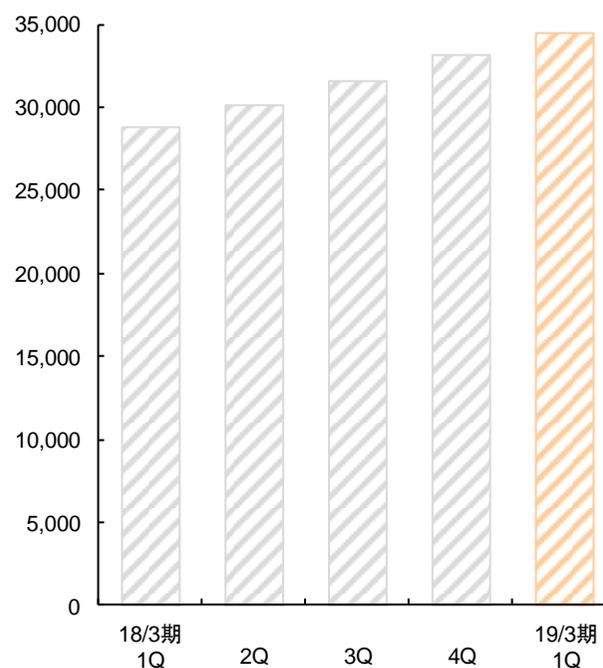
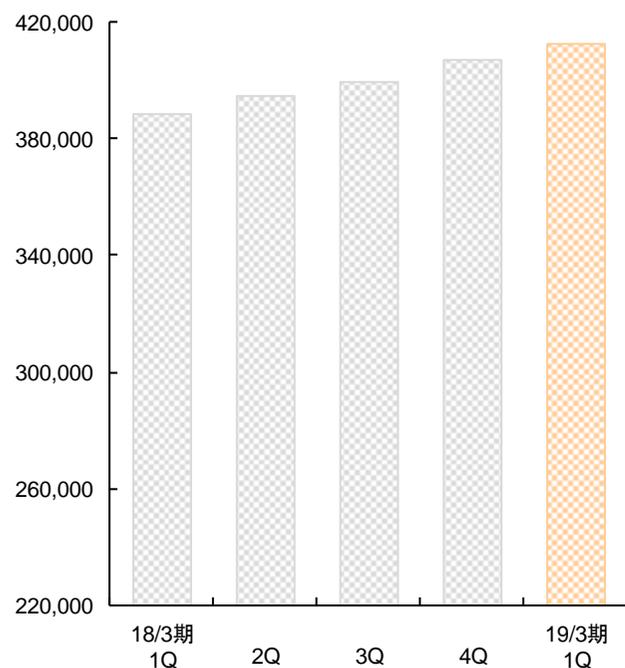
運用業務（お客様紹介業務・金融商品仲介業務^(*)）

投資銀行業務（お客様紹介業務）

個人のお客様（口座数）^{(*)2}

法人のお客様（累積件数）^{(*)3}

法人のお客様（累積件数）



注) 口座数の実績は各四半期末の口座数を表示。件数の実績は運用業務、投資銀行業務ともに累積の数値を表示

(*) 三井住友銀行(以下、「SMBC」)の金融商品仲介業務:当社が金融商品仲介業務を委託したSMBCがお客様に対して証券取引の勧誘・媒介等を行う

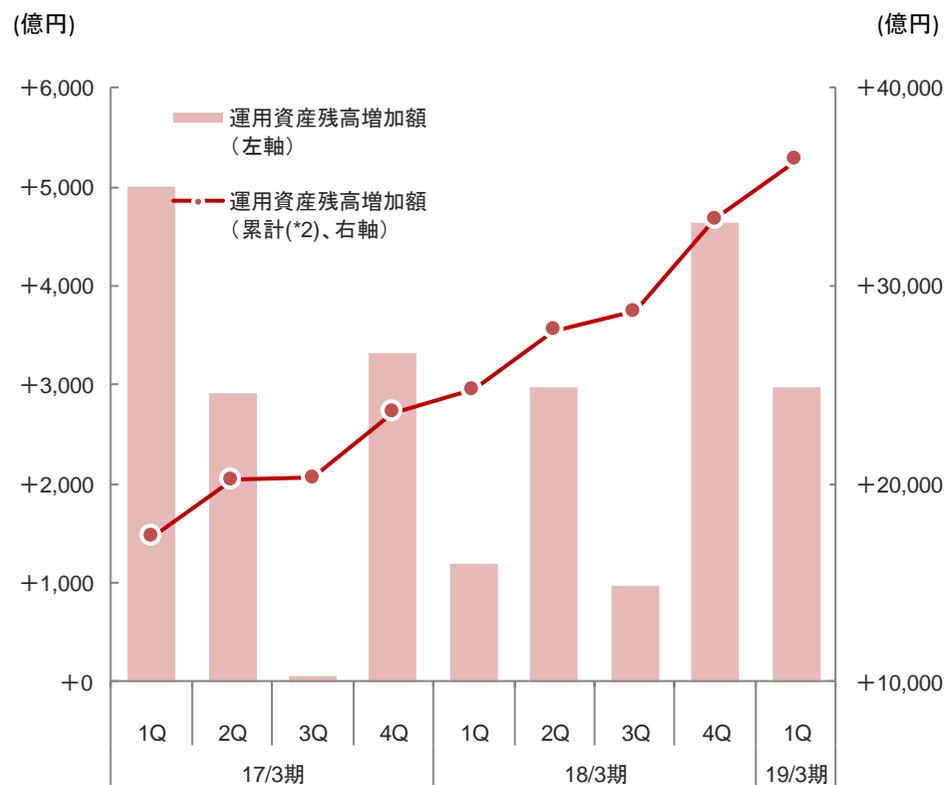
(*)2 SMBCから当社に対して紹介された個人のお客様の口座数及びSMBCの金融商品仲介業務を通じて口座を開設された個人のお客様の 各四半期末時点の口座数

(*)3 SMBCから当社に対する法人のお客様の運用業務に係る紹介件数及びSMBCの金融商品仲介業務の件数を累積で表示

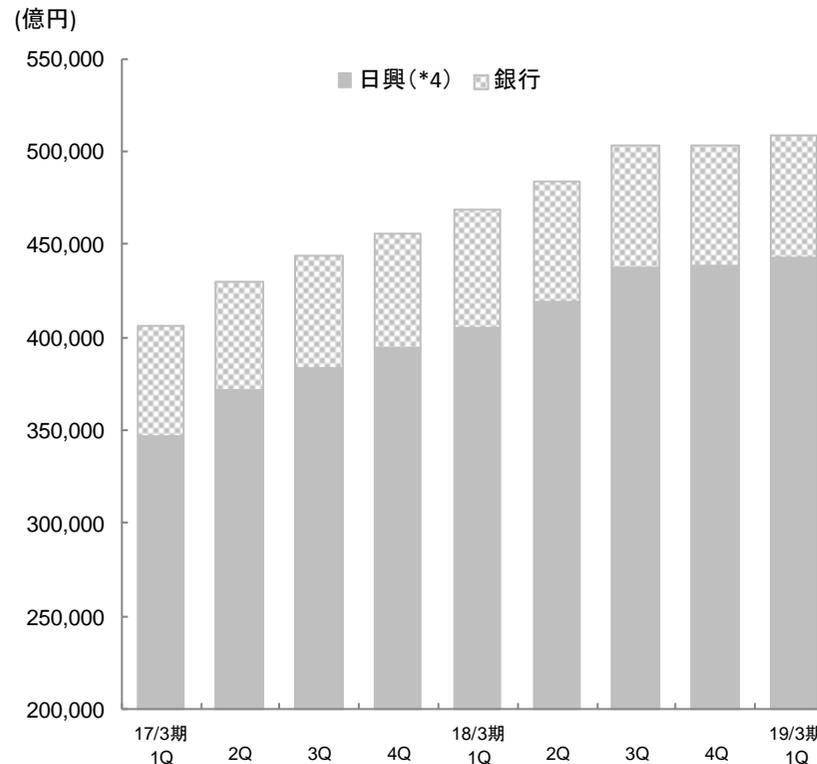
(参考資料) 銀証合算のリテール運用資産残高について

◇ リテールにおける、銀証合算の運用資産残高は増加傾向

リテール銀証運用資産残高増減額 (*1)



リテール銀証運用資産残高 (*3)



(*1) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(個人)の運用資産残高増減(資産導入額)の合計

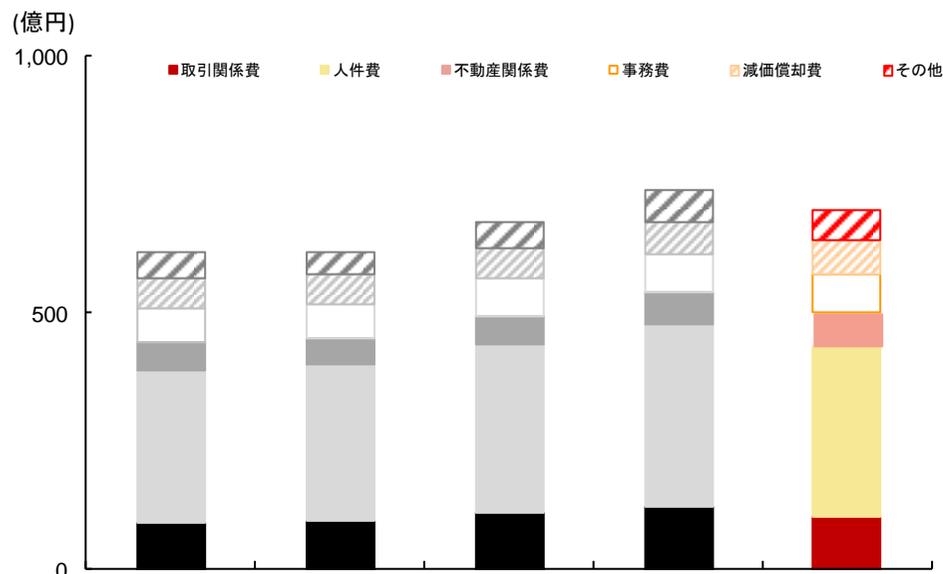
(*2) 2014年3月期第1四半期からの累計値

(*3) SMBCの個人運用資産残高(外貨預金、投資信託、一時払保険)と当社の営業部門(公益法人等の一部法人を含む)の運用資産残高(預り資産)の合計

(*4) 2017年3月期第1四半期から2018年3月期第3四半期は、旧SMBCフレンド証券を含む

販売費・一般管理費

◇ 第1四半期の販売費・一般管理費は702億円(前年同期比+13%、前四半期比-6%)



(単位: 億円)	18/3期 1Q	2Q	3Q	4Q	19/3期 1Q	前年同期比	前四半期比
取引関係費	93	98	112	122	104	+11%	-15%
人件費	295	302	329	356	332	+13%	-7%
不動産関係費	55	53	56	65	65	+19%	+0%
事務費	66	66	72	74	76	+16%	+3%
減価償却費	59	60	61	64	64	+9%	+0%
その他	52	41	49	61	58	+11%	-5%
販売費・一般管理費	623	624	682	746	702	+13%	-6%
販売費・一般管理費/純営業収益	76%	75%	70%	79%	81%	+5pt	+3pt

連結貸借対照表・自己資本規制比率の状況

【SMBC日興証券単体】

(単位：億円)	18年3月末	18年6月末	前期末比増減
流動資産	103,658	94,159	-9,499
トレーディング商品	31,797	35,295	+3,498
有価証券担保貸付金	50,277	38,299	-11,977
その他	21,583	20,564	-1,019
固定資産	3,153	3,135	-18
有形固定資産	273	268	-4
無形固定資産	742	719	-22
投資等その他の資産	2,138	2,147	+8
資産合計	106,812	97,294	-9,517
流動負債	90,795	80,842	-9,952
トレーディング商品	24,946	22,437	-2,509
有価証券担保借入金	50,060	42,007	-8,052
短期借入金/CP	7,298	5,738	-1,559
その他	8,490	10,659	+2,168
固定負債・準備金	7,829	8,284	+454
負債合計	98,625	89,126	-9,498
純資産	8,187	8,168	-19
負債・純資産合計	106,812	97,294	-9,517

(単位：億円)	18年3月末	18年6月末	前期末比増減
基本的項目	7,357	7,307	-50
補完的項目	1,491	1,524	+33
控除資産	1,660	1,689	+28
固定化されていない自己資本	7,188	7,143	-45
リスク相当額	1,609	1,610	+0
市場リスク	624	636	+12
取引先リスク	242	240	-2
基礎的リスク	742	734	-8
自己資本規制比率	447%	443%	-3pt

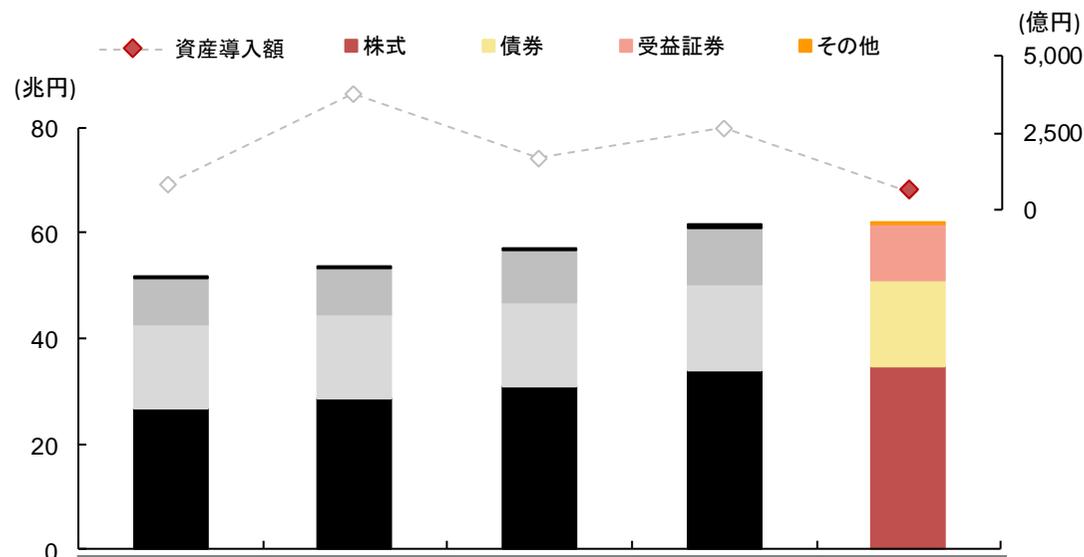
長期格付 (2018年7月24日現在)

【SMBC日興証券単体】

Moody's	S&P	R&I	JCR
A1 [安定的]	A [ポジティブ]	AA- [安定的]	AA [安定的]

預り資産残高・資産導入額

- ◇ 2018年6月末の預り資産残高は62.2兆円(前四半期比+1%)
- ◇ 第1四半期の営業部門の資産導入額は617億円



(単位:兆円)

	18/3期 6月末	9月末	12月末	3月末	19/3期 6月末
株式	26.8	28.4	31.0	34.0	34.5
債券	16.0	16.2	16.0	16.4	16.4
受益証券	8.4	8.6	9.7	10.7	10.7
その他	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5
預り資産残高	51.6	53.6	57.2	61.6	62.2

(単位:億円)

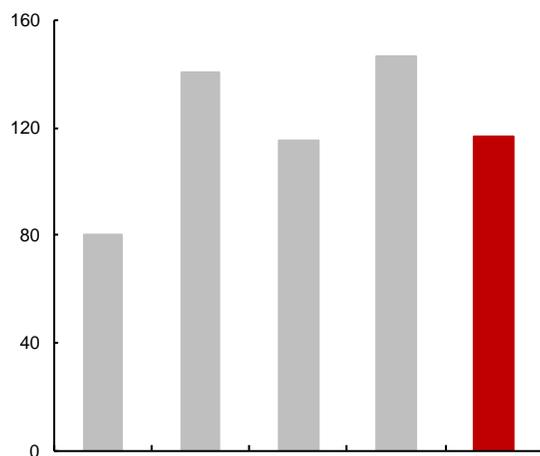
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
資産導入額(*)	824	3,768	1,671	2,648	617
入金入庫	10,968	14,750	14,377	17,669	12,663
出金出庫	-10,144	-10,982	-12,706	-15,021	-12,046

(*) 集計対象は公益法人を含む営業部門

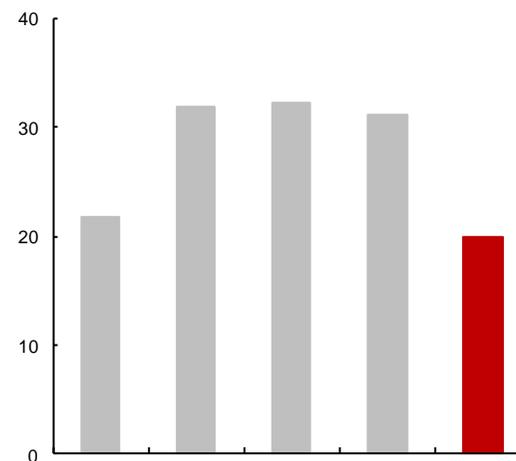
海外拠点の業績推移

- ◇ 第1四半期の収支(内部管理ベース)は20億円(前四半期比-36%)
- ◇ 国内外の発行体による海外資金調達の増減に影響を受けるが、収支(内部管理ベース)は堅調に推移

収支(内部管理ベース) 年度推移 (億円)



収支(内部管理ベース) 四半期推移 (億円)



注:本決算が12月末の欧州、米州の拠点について、前期末までは3ヶ月遅れの数値を取り込んでおりましたが、当四半期報告より直近数値を反映させております。

(*) 海外拠点合計は、下記の合計値

- ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)、SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)及び独フランクフルト証券現地法人準備会社(2019年3月期第1四半期より追加)の収支
- ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社(議決権比率:当社15.15%、三井住友銀行84.85%)のうち証券業務に係る収支及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社(議決権比率:当社20.00%、SMBC Financial Services, Inc.(三井住友銀行子会社)80.00%)の収支



提携先(アジア)

KB証券(本社:ソウル)

- M&Aアドバイザー業務、DCM業務及びIPO分野における業務提携

ファースト・メトロ証券(本社:マニラ)

- M&Aアドバイザー業務及びDCM業務を中心とした業務提携

ベトロベトナム証券(本社:ハノイ)

- 海外進出支援等を中心とした業務提携

ファトラ証券(本社:バンコク)

- M&Aアドバイザー及びDCM/ECM業務における提携

コタック・マヒンドラ・グループ(本社:ムンバイ)

- M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

提携先(米州)

シティグループ(本社:ニューヨーク)

- 多様な分野でワールドワイドに業務協働

モリス・アンド・カンパニー(本社:ニューヨーク)

- M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

BTGパクチュアル(本社:リオデジャネイロ)

- M&Aアドバイザー業務を中心とした業務提携

100周年

- 当社は7月7日に、おかげさまで創業100周年を迎えました。これもひとえにお客さま、ビジネスパートナーの皆様をはじめ、多くの方々のご理解、ご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。“得意先との共存共栄”、“親切で正直”という創業者の精神を大切に、これからも多様化するニーズと真摯に向き合い、進化した証券サービスとソリューションの提供に努めてまいります。



金融庁「FinTech実証実験ハブ」支援案件の採用

- 株式会社三井住友フィナンシャルグループおよび当社は、株式会社FRONTEOとともに、金融庁が2017年9月21日に設置した「FinTech実証実験ハブ」(以下、本実証実験)に参加いたしました。
- 電話でお客さまから沢山の様々なご意見やお申し出などが寄せられ、記録されていますが、そうしたお客さまの生の声が記録されている通話のデータ量は膨大であり、効率的な確認とともに精度の向上が求められています。本実証実験では、人工知能(AI)の利活用を通じて、お客さまの声をより幅広く収集し、分析を実施することで当該確認業務を高度化・効率化できるかを検証いたしました。

「新宿東口支店」営業開始

- 5月21日より、新宿東口支店の営業を開始いたしました。所在地は、東京メトロ丸ノ内線「新宿」駅直結の新宿M-SQUAREの8階となります。同ビルには、三井住友銀行新宿支店および新宿東エリア、新宿法人営業第一部、新宿法人営業第二部が同時に移転オープンいたしました。
- 当社は、「国内外において質の高いサービスを提供する本邦No.1の総合証券会社」を目指して、体制整備を進めており、新宿東口支店の営業開始により、国内店舗は149ヶ店(本店1・支店148)となりました。

「One・PIT(ワンピット)」の提供を開始

- 総合金融情報を提供するモーニングスター株式会社と共同開発した、ビックデータを活用した総合ライフプランシミュレーションツール「One・PIT」の提供を開始いたしました。
- 当社営業員の利用するタブレット端末および支店におけるパソコン端末を通じて、お客さまごとの将来の資金計画や資産運用に役立つ高品質な情報を提供いたします。



参考資料



四半期損益推移 (連結)

(単位: 百万円)	18年3月期				19年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業収益	91,483	91,543	109,773	104,605	97,367
受入手数料	41,726	43,495	56,257	57,984	50,357
委託手数料	9,165	8,821	12,822	11,785	10,393
引受け・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	5,659	6,820	10,180	9,078	8,866
募集・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	10,656	10,304	12,948	16,585	10,669
その他の受入手数料	16,243	17,549	20,306	20,534	20,427
トレーディング損益	38,008	34,770	40,493	34,057	34,057
株券等	8,568	5,569	13,506	7,234	10,721
債券等・その他	29,439	29,200	26,987	26,823	23,336
金融収益	9,600	10,988	10,669	9,740	9,547
売上高	2,148	2,288	2,352	2,822	3,404
金融費用	7,462	6,769	10,025	7,156	7,871
売上原価	1,856	2,057	2,090	2,631	3,055
純営業収益	82,164	82,716	97,657	94,816	86,439
販売費・一般管理費	62,353	62,418	68,254	74,637	70,291
営業利益	19,811	20,297	29,402	20,178	16,148
経常利益	20,960	20,938	30,531	22,552	18,051
特別損益	-372	-517	-931	-4,210	-652
税金等調整前当期純利益	20,587	20,420	29,599	18,342	17,398
法人税等	6,093	6,054	8,918	4,169	2,397
当期純利益	14,493	14,365	20,681	14,172	15,001
親会社株主に帰属する当期純利益	14,491	14,365	20,677	14,170	14,996

四半期損益推移 (SMBC日興証券)

(単位: 百万円)	18年3月期				19年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業収益	86,651	86,282	104,225	98,857	90,835
受入手数料	39,243	40,737	53,276	55,292	47,490
委託手数料	8,449	8,149	12,055	11,324	9,673
引受け・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	5,659	6,820	10,180	9,078	8,866
募集・売出し特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	10,594	10,281	12,925	16,485	10,635
その他の受入手数料	14,540	15,485	18,114	18,404	18,315
トレーディング損益	38,006	34,770	40,492	34,056	34,053
株券等	8,568	5,569	13,506	7,234	10,721
債券等・その他	29,437	29,200	26,985	26,822	23,331
金融収益	9,401	10,773	10,456	9,508	9,292
金融費用	7,315	6,609	9,856	7,010	7,683
純営業収益	79,336	79,672	94,368	91,846	83,152
販売費・一般管理費	61,189	60,978	65,815	72,349	68,473
営業利益	18,146	18,693	28,552	19,497	14,678
経常利益	18,348	19,228	28,764	21,155	15,714
特別損益	-372	-517	-943	-4,464	-655
税引前当期純利益	17,975	18,710	27,821	16,691	15,059
法人税等	5,460	5,676	8,571	3,736	2,742
当期純利益	12,515	13,034	19,249	12,954	12,316

◇主要商品販売額 (単位:億円)	18年3月期				19年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
投資信託	5,507	5,660	6,613	10,130	6,507
(株式投資信託)	(4,537)	(4,620)	(5,420)	(8,595)	(5,354)
(外国籍投資信託)	(711)	(883)	(1,028)	(1,366)	(982)
ファンドラップ	1,056	1,024	1,369	653	978
外債(*1)	7,873	7,252	7,358	7,557	7,342
(外貨建て債券)	(2,212)	(2,566)	(1,534)	(2,265)	(2,334)
国内債	10,416	7,739	9,917	6,773	8,815
(個人向け国債)	(1,291)	(1,750)	(1,327)	(1,987)	(1,168)
株式募集	358	1,566	1,195	1,365	910
年金・保険商品	85	166	242	175	251
主要商品販売額合計	25,295	23,406	26,693	26,652	24,803

(*1) 外債販売は、既発債の販売も含む。円建外債は、外債に含む。

◇マーケットシェア	18年3月期				19年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
株券引受 グローバル株式 (*1)	9.9%	6.2%	8.6%	11.4%	15.9%
債券引受 円債総合 (*2)	19.5%	16.1%	16.9%	17.2%	16.4%
M&A 日本企業関連 (*3)	14.8%	9.1%	9.1%	9.1%	36.9%

(*1) グローバル株式・株式関連-日本・ブックランナー

(*2) 円債総合・主幹事

(*3) 日本企業関連M&A公表案件(取引金額シェア)

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

出所: THOMSON REUTERSの情報を基に当社が作成

出所: THOMSON REUTERS

◇ダイレクトチャネル比率 (*1)

	18年3月期				19年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
約定件数ベース	92.2%	91.1%	90.7%	91.3%	91.3%
（日興イーजीトレード）	（ 88.1%）	（ 87.1%）	（ 86.2%）	（ 86.8%）	（ 87.3%）
手数料ベース	26.7%	24.4%	27.6%	26.5%	20.5%
（日興イーजीトレード）	（ 17.7%）	（ 16.1%）	（ 17.8%）	（ 16.8%）	（ 12.5%）

(*1) SMBC日興証券における個人のお客様からの株式・CB取引（委託売買、募集）に占める対面以外の比率。

◇売買代金・手数料率 (*2)

(単位: 億円)	18年3月期				19年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
株式委託売買代金	72,959	73,541	92,427	88,467	87,214
株式委託手数料(*3)	86	85	124	110	99
単純平均委託手数料率	10.8bp	10.6bp	12.3bp	11.7bp	10.5bp

(*2) 株式委託売買代金・委託手数料率は現物および信用取引を集計対象としている。

(*3) 連結ベース

【SMBC日興証券単体】

◇口座数 (単位:千口座)	18年3月期				19年3月期
	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6
総口座数	2,813	2,829	2,838	3,327	3,352
証券総合口座数	2,486	2,500	2,512	2,851	2,872
新規登録口座数	31	30	30	41	40

【SMBC日興証券単体】

◇店舗数	18年3月期				19年3月期
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
国内店舗数	124	124	123	148	149

◇人員数	18年3月期				19年3月期
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末
人員数	10,698	10,559	10,456	11,987	12,382
海外拠点人員数	491	524	556	579	601

(*) 海外拠点人員数は、下記の合計人員数

- ✓ 連結子会社であるSMBC日興セキュリティーズ(香港)、SMBC日興セキュリティーズ(シンガポール)及び独フランクフルト証券現地法人準備会社の人員数
- ✓ 持分法適用関連会社である英国SMBC日興キャピタル・マーケット会社のうち証券業務に係る人員数及びSMBC日興セキュリティーズ・アメリカ会社の人員数

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券

100TH
ANNIVERSARY
おかげさまで百周年